

## 平成28年度第1回資金管理委員会議事録要約

- ◆ 開催日時 平成28年6月24日（金）10時30分～12時00分
- ◆ 開催場所 兵庫県庁2号館
- ◆ 出席者（会長◎）
  - ◎ 甲斐 良隆 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授
  - 佐竹 隆幸 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授
  - 藤原 賢哉 神戸大学大学院経営学研究科教授
  - 米田小百合 公認会計士
  - 浅野 正義 地方公共団体金融機構地方支援部副部長兼  
ファイナンス支援課長
  - 中野 達夫 格付投資情報センター格付本部チーフアナリスト

### 1 （公財）ひょうご科学技術協会の資金管理状況について

- 保有するオランダ水道金融公庫債の仕組債の格付けは、現行AAAであるが、類似のノルウェー輸出金融公社の仕組債では、一度に7段階も引き下げられ投機的等級とされた事例もあることから、為替変動の影響に加え、信用度の変化にも十分な配慮が必要である。
- 協会が保有するユーロ円債や劣後債を売却した場合、協会保有債券全体を時価評価する必要が生じ、会計規模の小さい協会の貸借対照表が金利変動の影響を大きく受けてしまうとの説明であったが、そもそも、通常でもこのような債券に適正な値がつかないのに、（中長期的な管理計画で売却を検討することになっている）債券の格下げ時には価値が大きく下落してしまうことを十分に踏まえて、平時から対応を検討すべきである。

### 2 指針不適合商品に関する基本方針と中長期的な管理計画のあり方について

- これまでの委員会での取組み成果もあり、指針不適合商品の数が減っていることは評価できる。今後、指針不適合商品に関する中長期的な管理計画をより具体化・明確化し、策定手続きの厳格化を図るなど、実効性を向上させることでさらなる抑止力になると思われる。
- このため、金融商品の名称の正確な記載、現在価値の算出根拠やリスクの所在など、中長期的な管理計画の記載内容のチェックを行った上で、指針の改定を検討していく必要がある。